

日仏共同博士課程（コレッジ・ドクトラル・フランコ・ジャポネ）プログラム について

1. 経緯および概要

2001年5月、フランス（ストラスブール）で開催された第2回日仏高等教育シンポジウムの議題の一つとして、博士課程の学生交流が検討された。同年11月、日仏共同博士課程プロジェクトに関する会議において、フランス側から日本側に対し、日仏共同博士課程設立の提案があった。2002年4月、日仏共同博士課程日本コンソーシアム設立総会の開催、同年9月にフランス（パリ）において、協定書の調印式が行われ、日仏両コンソーシアム間で、正式に博士課程の学生交流を行うこととなった。2005年度からは、明治大学が日本コンソーシアムの議長校を務めてきた。

日仏共同博士課程プログラムは、フランスの大学連合（参加大学54校）と日本の大学連合（参加大学35校）によるコンソーシアム形式の交流事業で、参加大学は相互に博士後期課程在籍学生を派遣し、相手国で1年間の学位取得のための共同指導、学位授与（ただし、共同学位ではない）の共同審査を行うプログラムである。本プログラムは、日仏の指導教授相互の学術交流とともに、国際的に活躍する若手研究者の育成にも大きく寄与してきた。

本プログラムは、2011年9月をもって終了したが、日本コンソーシアムの解散にあたり、同事業の総括として2012年3月、フランス（パリ）にて、シンポジウムを開催することとなった。

2. 学生交流の状況

2003年度から2010年度の実績は以下のとおり。

	派遣学生数	受入れ学生数
2003年度	30名	10名
2004年度	28名	16名
2005年度	33名	18名
2006年度	28名	16名
2007年度	29名	14名
2008年度	19名	13名
2009年度	18名	14名
2010年度	12名	0名

3. コンソーシアム加盟大学

日本コンソーシアム加盟大学 (35 大学)

大学名	大学名	大学名	大学名
大阪大学	大阪府立大学	お茶の水女子大学	香川大学
九州大学	京都大学	熊本大学	慶應義塾大学
神戸大学	首都大学東京	上智大学	西南学院大学
総合研究大学院大学	中央大学	筑波大学	東京工業大学
東京大学	東京農工大学	東京理科大学	同志社大学
東北大学	長岡技術科学大学	名古屋大学	新潟大学
日本大学	一橋大学	法政大学	北陸先端科学技術大学院大学
北海道大学	明治大学	横浜国立大学	立教大学
立命館大学	琉球大学	早稲田大学	

フランスコンソーシアム加盟大学 (54 大学)

大学名 (日本語)	大学名 (日本語)	大学名 (日本語)
エクス・マルセイユ第1大学	国立東洋言語文化学院	パリ第6大学
エクス・マルセイユ第2大学	国立グルノーブル理工科学院	パリ第7大学
エクス・マルセイユ第3大学	国立トゥールーズ理工科学院	パリ第9大学
ブサンソン大学	リール第1大学	パリ第10大学
ブレーズ・パスカル大学	INSA リヨン	パリ第11大学
ボルドー第1大学	リヨン第1大学	パリ第12大学
ボルドー第2大学	リヨン第2大学	パリ第13大学
ボルドー第3大学	リヨン第3大学	ポー大学
ボルドー第4大学	マルヌ・ラ・ヴァレ大学	レンヌ第1大学
セルジー・ポントワーズ大学	メッス大学	レンヌ第2大学
サヴォワ大学	モンペリエ第2大学	ストラスブール第1大学
社会科学高等研究院	ミュルーズ大学	ストラスブール第2大学
フランス国立高等研究院	Ecole Centrale ナント	ストラスブール第3大学
カシャン高等師範学校	ナント大学	トゥールーズ第1大学
リヨン高等師範学校	パリ第1大学	トゥールーズ第2大学
高等師範学校 (ユルム)	パリ第3大学	トゥールーズ第3大学
グルノーブル第1大学	パリ第4大学	トゥール大学
パリ政治学院	パリ第5大学	ヴェルサイユ・サン・カンタン大学

以 上